

ウィスコンシン大学 ES 細胞特許に関し
USPTO は再審査により相次いで特許性を是認

2008年3月19日
JETRO NY 澤井、中山

ウィスコンシン大学技術移転機関(WARF、後掲)の11日付発表¹によれば、同機関保有の胚性幹細胞(Embryonic Stem cells: ES細胞)に関する基本特許3件(James Thomson 教授等発明)に対し、USPTOは再審査手続きにより、相次いで特許性を是認した模様。

再審査の対象とされた特許は、サル胚性幹細胞の培養及び作成方法(特許5843780号(780特許)、95年1月20日特許発行)、ヒト胚性幹細胞の培養及び作成方法(特許6200806号(806特許)、98年6月26日特許発行)、ヒト胚性幹細胞の試験管培養(特許7029913号(913特許)、01年10月18日特許発行)に関する発明。

前二件が査定系再審査を経てUSPTOより5日に、913特許に関しては当事者系再審査手続きを経て2月25日に、それぞれ再審査に係る査定書が発送されている。新規性・進歩性違反を根拠として、特許性の見直しを求めた再審査請求人は、Public Patent Foundation (PUBPAT)²等の非営利団体。PUBPATは、公益性の観点から特許制度を注視しており、これまでも多くの米主要特許に対し、再審査請求を行ってきた。再審査の結果、USPTO審査官は、何れの特許に対しても、その有効性を認め特許性を肯定した。³

一連の再審査結果は、ワシントンポスト紙⁴、ウォールストリートジャーナル紙⁵、ネイチャー誌、サイエンス誌⁶などの米主要紙・科学誌でも取り上げられており、米国において高い関心を集めている。17日付ネイチャー誌(電子版)⁷によれば、PUBPAT側は、今回の再審査手続きにより特許請求の範囲が減縮したとした上で、更に再審査請求を行う用意があると発言している模様。これに対し、UCバークレー大学Ken Taymorセンター長の言として、再審査手続きは、WARFを利するのみと指摘。背景として、継続出願等の機会を与え、

¹ http://www.warf.org/news/news.jsp?news_id=226

² <http://www.pubpat.org/About.htm>

³ 780 特許: http://www.warf.org/uploads/media/PTO_780_office_action.PDF

806 特許: http://www.warf.org/uploads/media/PTO_806_Office_Action.pdf

913 特許: http://www.warf.org/uploads/media/PTO_913_office_action.PDF

⁴ <http://www.washingtonpost.com/wp-dyn/content/article/2008/03/11/AR2008031101683.html>

⁵ http://blogs.wsj.com/health/2008/02/28/as-stem-cell-patent-fight-lingers-science-marches-on/?mod=googlenews_wsj

⁶ <http://sciencenow.sciencemag.org/cgi/content/full/2008/312/4>

⁷ <http://www.nature.com/news/2008/080317/full/452265b.html>

WARF特許の本件ライセンシーであるゲロン社(カリフォルニア)とともに、特許請求の範囲を拡張することになると述べている。他方、2月29日付 Wisconsin テクノロジーネットワーク誌(電子版)⁸によれば、今回の特許請求の範囲の減縮により、近時注目される人工多能性幹細胞(induced pluripotent stem cells:iPS細胞)が、上記各特許に含まれることはない論じている。なお、Wisconsin 大学 James Thomson 教授は、かかるiPS細胞の米国の第一人者としても知られる。

なお、WARF は、Wisconsin 大学マディソン校の技術移転機関として 1925 年に設立された学外非営利団体であり、マディソン校における研究成果に対する特許取得やライセンス供与を行っている⁹。WARF は、マディソン校の発明から得たライセンス収入(06 年、約 4200 万ドル)の一部を同校に配分する他、同校に対して毎年約 4,500 万ドルの研究資金の提供を行なっている¹⁰。近年、ロビー活動を拡大するとともに、Sensenbrenner 下院議員(共、Wisconsin: 前司法委員長)や Feingold 上院議員(民、Wisconsin)との繋がりもあり、現在議会で審議される特許改革法案に対しても強い発言力がある。

(了)

⁸ <http://wistechnology.com/articles/4571/>

⁹ <http://www.warf.org/news/index.jsp?cid=20>

¹⁰ <http://www.warf.org/about/index.jsp>